



2025年（令和7年）7月3日午後2時

府政記者会 会員各位
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位
枚方記者クラブ 会員各位

国の天然記念物イタセンパラの生息域外保全を拡大！
おおさか環農水研とジェックス株式会社は
生物多様性保全の取組について連携します！

おおさか環農水研と総合ペット用品メーカーのジェックス株式会社は、生物多様性保全の取組を推進するため、連携協定およびおおさか生物多様性リンク^{※1}を締結します。これらの連携に基づき、協力して小学校等やジェックス株式会社においてイタセンパラ^{※2}の飼育を開始し、おおさか環農水研が取組むイタセンパラの生息域外保全^{※3}をより充実させます。今後は飼育した魚類などの終生飼育^{※4}の啓発も行う予定です。

【おおさか生物多様性リンク署名式の概要】

1. 日時：2025年7月8日（火曜日）午後2時から
2. 場所：ジェックス株式会社 応接室
（大阪府東大阪市今米1丁目14番5号）
3. 概要
 - ・生物多様性センター長およびジェックス株式会社代表取締役による活動宣言書署名
 - ・イタセンパラの飼育開始



イタセンパラ

※1 おおさか生物多様性リンク

環農水研生物多様性センターと学校、企業、行政機関等の団体がつながり（リンク）を構築し、相互に協力し合うことで、生物多様性の保全や利活用を一層推進することをめざす取組です。やわらかで、しなやかなつながりの中で、長期的に相互の機能強化をはかり、生物多様性に取組むトプランナー大阪を、一緒にめざすことを目的にしています。

「おおさか生物多様性リンク」について詳しくはこちら

（環農水研 HP）<https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/bdlink/index.html>



※2 イタセンパラ

淀川のワンド（河川の中の池のような場所）に生息し、そのかわいらしい姿や特徴的な生態から「淀川のシンボルフィッシュ」と呼ばれています。国の天然記念物および国内希少野生動物種に指定されており、おおさか環農水研では1970年代から生息域外保全に取り組んできました。

なお、今回の飼育は、文化庁および環境省の許可を得て実施します。

※3 生息域外保全

絶滅危惧種などを、安全な施設などに保護して、それらを増やすことにより絶滅を回避する方法のことで、絶滅危惧種の保全には、本来の生息地（生息域内）だけでなく生息域外での保全にも同時に取り組むことが重要です。また、複数の場所で生息域外保全を行うことで、より一層、絶滅リスクの軽減が期待できます。

※4 終生飼育

ペットを野外などへ放逐、放流せず、寿命を迎えるまで適切に飼育することを言います。飼育されていた品種改良メダカや、国内の他の地域のタナゴの仲間など、個人による安易な野外への放流が、生物多様性を脅かす一因となり得ることが知られています。